

第13回横浜リハビリテーション研究会

日時：3/2（土）14:30～

会場：横浜市総合リハビリテーションセンター1階多目的ホール

<プログラム>

14:30～ 一般演題 （座長：横浜市立脳卒中・神経脊椎センター 小林 宏高）

1. 脳卒中患者のプレガバリン（リリカ）は中止できるか？～自験例の検討

横浜市総合リハビリテーションセンター

高橋素彦 高岡徹 倉兼明香 吉川真理

2. 嚥下造影を用いた延髄外側梗塞の嚥下運動動態に関する研究

横浜市立脳卒中神経・脊椎センター

東北大学大学院 医学系研究科 肢体不自由学分野 博士課程
中尾真理

3. 当院リハビリテーション科での先進的治療の取り組みについて

横浜市立大学リハビリテーション科学講座

野々垣学 金森裕一 山上大亮 荒川英樹 中村健

15:40～ 特別講演 （座長：横浜市立脳卒中・神経脊椎センター 前野 豊）

「リハ工学でできること、リハ工学でやりたいこと」

佐賀大学大学院医学系研究科

医学部付属地域医療科学教育研究センター福祉健康科学部門

松尾 清美 先生

今回の特別講演、は障害者の生活支援機器や住宅改修に携わる第一人者の松尾先生にご講演をいただきます。各施設スタッフをはじめ、多くの皆様のご参加をお待ちしています。